

第10回若手科学者によるプラズマ研究会

「ITERに向けたプラズマ科学の新展開」

平成19年3月14日(水)～16日(金)

日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所

「若手科学者によるプラズマ研究会」設立の趣旨

これからのプラズマ・核融合研究を担う若い研究者同士が、活発な議論を行い、若手同士の横のつながりをつくり、既成概念にとらわれない新しい研究会をつくることを目的とする。また、プラズマ・核融合コミュニティ全体に資することのできるような場を提供する。

第10回若手科学者によるプラズマ研究会

「ITERに向けたプラズマ科学の新展開」

国際熱核融合実験炉(ITER)計画に関する実施協定が、昨年11月に各参加極の代表により署名され、その活動を開始

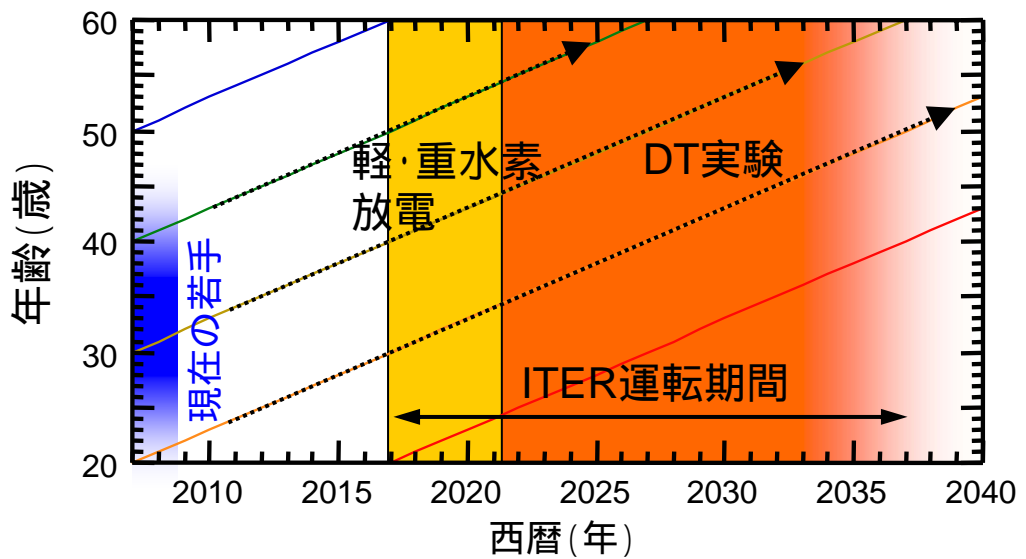
ITERは、核燃焼プラズマの定常維持との観点で、プラズマ・核融合研究における重要なステップ

ITER計画は人類の手で初めて燃焼プラズマを実現するというチャレンジであり、プラズマ研究を新しい方向に導くものと考えられる。我々は様々な分野の知見を共有しあい、包括的な理解に資する必要がある、その中で1つの方向性として、ITERを見据えた活動も視野に入れていくことが重要

現在のプラズマ若手科学者とITER



↑ 現在
 ↑ ITER 建設認可
 ↑ 装置 組立開始
 ↑ ファースト プラズマ
 ↑ 軽水素 放電
 ↑ DD 放電
 ↑ DT 放電



現在の若手研究者は
ITER 運転期間において
実験を主導的に行う世代

研究会事務局

浦野創 (原子力機構)
松本太郎 (原子力機構)
松永剛 (原子力機構)